



委員会等活動成果

国際関係委員会 欧州調査部会

“The Actuary”の記事紹介

Pick Up

英国アクチュアリー会月刊誌「The Actuary」2006年9月号から

2007年1月12日

英国アクチュアリー会における会員向け専門性研修(Professionalism Event)

英国におけるアクチュアリー職のあり方に関するモーリス・レビューは、The Actuaryでも頻りに取り上げられ、小欄でも興味深い記事について紹介してきた(2004年8月分、2004年12月分、2005年1,2月分をご参照頂きたい)。モーリス・レビューではアクチュアリー資格取得後の継続教育の必要性が指摘されているが、これらの指摘を踏まえ、英国アクチュアリー会(Institute of Actuaries, Faculty of Actuaries)は2006年7月1日に会員の継続教育制度を改定した。The Actuary 2006年9月号では、この継続教育制度改定で新たに導入された専門性研修についてレポートしている。

●継続専門教育(Continuing Professional Development)

英国アクチュアリー会では、資格試験合格後の会員の能力維持・向上のため、従来より継続教育制度を実施してきた。この継続教育スキームにおいて、会員は以下の4つのカテゴリーに分類され、それぞれ一定基準の継続学習を求められてきた。

- カテゴリー1： 英国法定実務認定証を持つアクチュアリー
 - カテゴリー2： 所定の国(英国、アイルランド、米国、日本、ドイツ、フランス)で働いているが、英国法定実務認定証を持たないアクチュアリー
 - カテゴリー3： カテゴリー1, 2以外で働いているアクチュアリー
 - カテゴリー4： 休業中のアクチュアリー
- (英国アクチュアリー会の継続教育スキーム)



	カテゴリー1	カテゴリー2	カテゴリー3	カテゴリー4
最低継続教育時間	15 時間	15 時間	各自設定	－
うちセミナー参加等	15 時間	合わせて	合わせて	－
うち自己申告	15 時間	15 時間	上記の時間	－
うち実務分野（認定証）に関する時間	10 時間	10 時間	各自設定	－
分野数	4	4	－	－
うち技術スキルに関係する分野	2	2	－	－
専門性スキル	2 時間	2 時間	－	－
（新規導入） 専門性研修への参加	必須	必須	推奨	－

●新たに導入された専門性研修

今回新たに導入された専門性研修は 10 年に 1 度参加が求められるものであり、専門職としての行動規範、懲戒規程、専門倫理等や近年のトピックに関する内容となっている。具体的には以下の内容を理解することを目的としている。

専門職としての行動規範

継続教育スキーム

懲戒行為およびそれ以前にとられるステップ

専門性および倫理に関する最近の問題

公共利益

様々な場面での専門職の責任について（他の専門職の責任を含む）

なお専門性研修に参加したことのないアクチュアリーを円滑に参加させるため、当面 3～4 年間程度は、年に 5 回程度と回数を増やして実施する予定である。

原文をお読みにになりたい方は英国アクチュアリー会の HP をご覧下さい。

http://www.the-actuary.org.uk/pdfs/06_09_05.pdf